

THE THEATRE COMPANY BUNGEIZA '22

故平田純氏、故小泉邦子氏、故楠早苗氏の3氏を追悼する

「ザ・トート・ファミリー」2幕6場

THE TOTH FAMILY

作／エルケーニイ・イシュトヴァーン 訳／平田 純

劇団文芸座公演

演出／ピンツェーシュ・イシュトヴァーン

日時：2022年11月29日(火)18:30 開演

11月30日(水)14:00 開演

場 所：富山県教育文化会館ホール

入場料：2,000円(大人)／1,000円(児童生徒)

主催／劇団文芸座

共催／(一社)富山県芸術文化協会

(公財)富山市民文化事業団・北日本新聞社・富山テレビ放送

富山ハイドゥーピハール・デブレツェン(ハンガリー)友好協会

後援／富山県・富山市・駐日ハンガリー大使館・富山県舞台技術研究会

富山県演劇団体連絡協議会

リスト・ハンガリー文化センター
東京

●プレイガイド

・北日本新聞社1Fプレイガイド

・アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール)

・アスネットカウンター(オーバード・ホール)

・(一社)富山県芸術文化協会

デザイン：堀井国弘

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

THE THEATRE COMPANY BUNGEIZA '22

追悼者

1985年	翻訳 芸文協5代目会長 芸文座相談役(2019年逝去)	平田 純
1985・86・87・98年	公演時 トート・マリシユカ役 芸文座理事 (2020年逝去)	小泉邦子
1985・86・87・98年	公演時 トート・アギカ役 芸文座理事 (2019年逝去)	楠 早苗

「ザ・トート・ファミリー」2幕6場

THE TOTH FAMILY
作/エルケーニイ・イシュトヴァーン 訳/平田 純

劇団芸文座公演

演出/ピンツェーシュ・イシュトヴァーン

〈あらすじ〉

この劇は第二次世界大戦中の出来事を描いている。一人の息子を戦地へ送り出し、その無事を祈っている善良なトート家に、息子の上官が休暇で保養にやってくる。実のところこの上官は戦地の緊張からノイローゼなのだ。トートたちは少佐の狂気にふりまわされるが、それもこの男が息子の生死を握る立場にあると思えばこそなのだ。

村人から半馬鹿扱いされる郵便配達は、この山村に外界の情報をもたらす唯一の存在なのだが、彼独特の恣意的偏見で歪曲された情報に人々は翻弄され、様々な期待と思惑を抱かされていく。



〈スタッフ〉

演出	ピンツェーシュ・イシュトヴァーン
演出補佐	舟本 幸人 小泉 量裕 (通訳)
演出助手	福田 理恵 木津祐美子
装置	久郷 秀男
照明	小桜 邦彦
衣装	長原 和美
効果	野口 康博 保科 克則
舞台監督	平田 義人
制作スタッフ	黒田 義昭 高尾 真澄
制作統括	小泉 博

〈キャスト〉

少佐	角 光則
トート・ラヨシュ (消防団長)	谷井 美夫
トート・マリシユカ (その妻)	上岸 泰子
トート・アギカ (その娘)	水野 紗希 (可西舞踊研究所研究生)
郵便配達人	清田 尚登
ミセス・ギジ (よからぬ噂の女)	押田 栞 (和田朝子記念 AIR BALLET STUDIO・OG)
ロリンツケ (隣人)	川崎 昌博
浄化槽掃除人	トート・カールマン (プレーヤーズ・スタジオ・デブレツェン)
トマイ神父	舟本 幸人
優雅な少佐	平田 義人
ラグタグ・ブラスバンド	滑川吹奏楽団

劇団芸文座「ザ・トート・ファミリー」上演歴

1985年	初演 富山県教育文化会館ホール	2回公演
1986年	日本ハンガリー週間 東京・前進座劇場	2回公演
1987年	ブダペスト・ターリア劇場他	4都市4回公演
1998年	富山県教育文化会館ホール	1回公演

